

平成23年度 会計別予算額

会計区分	H23当初予算額	
一般会計	269億8,000万円	
特別会計	国民健康保険特別会計(事業勘定)	56億5,300万円
	国民健康保険特別会計(直診勘定)	8,060万円
	後期高齢者医療事業特別会計	4億3,650万円
	農林業集落排水事業特別会計	5億6,600万円
	下水道事業特別会計	23億4,600万円
	熱供給事業特別会計	630万円
	土地取得特別会計	2,607万円
	介護保険事業特別会計	40億8,400万円
	訪問看護ステーション事業特別会計	7,600万円
事業会計	水道事業会計	14億1,602万円
	病院事業会計	91億7,058万円
	介護老人保健施設事業会計	3億4,897万円



【一般会計、特別会計、事業会計?】

一般会計は、市の基本的な経費についての会計で、市財政運営の基本となるものです。
また、特別会計と事業会計は、特定の事業を行う場合に、特定の収入を特定の歳出にあてるため、一般会計と区別する必要があるときに、法律や条例に基づいて設けられます。高島市では、9つの特別会計と3つの事業会計があります。

一般会計 269億8,000万円
特別会計 132億7,447万円
事業会計 109億3,557万円

予算総額 511億9,004万円

平成23年度

予算

平成23年度当初予算が3月議会で可決されました。
一般会計総額は269億8千万円で、前年度と比較すると、14億4千万円、5.6%の増となっています。

図 財政課 図(25)8111

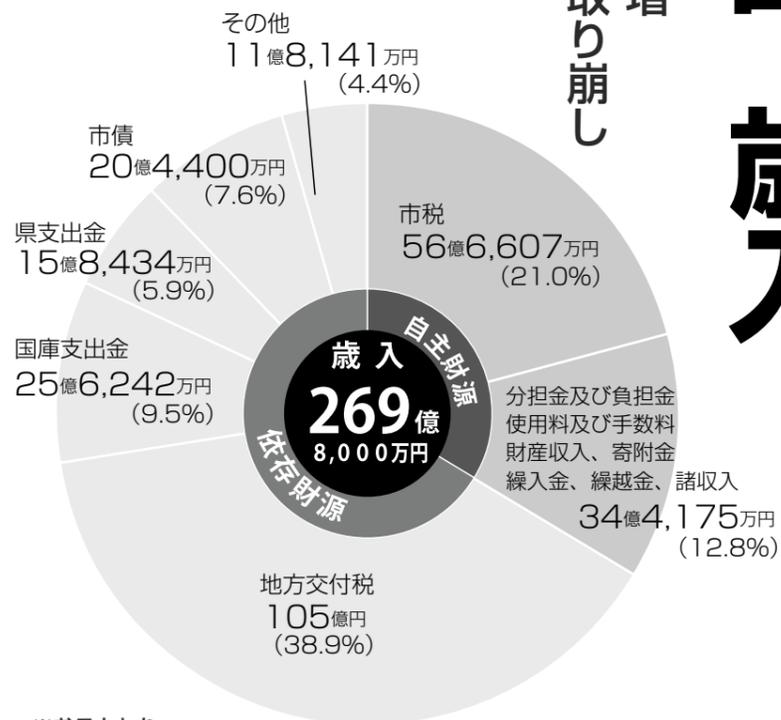
6つの柱

平成23年度当初予算は「住みたいまちびわ湖源流の郷 たかしま」の実現に向け、次の6点を柱として予算編成を行いました。

- 1 「びわ湖源流の郷たかしま戦略計画」の策定**
「びわ湖源流の郷」である高島市で、環境保全と地域産業を好循環させるための具体的な戦略を策定します。
- 2 活力ある地域産業の創生**
農産物認証制度により高島ブランドの確立と販路の拡大を推進するなど、市内産業の活性化を図ります。
- 3 いきいきコミュニティの創生**
「みんなで創るまちづくり交付金」制度による自治会等活動の支援を行うほか、協働事業提案制度により行政サービスの市民満足度を高めます。
- 4 ごみ減量社会の創生**
「紙ごみ減量」をテーマに、ごみ処理経費とCO₂排出量の削減を図るため、「高島市ごみ減量大作戦」紙ごみ減量プロジェクトを展開します。
- 5 健やかな市民生活の創生**
安心・安全な市民生活のため、公立高島総合病院の整備を進めます。また、妊婦健診や子宮頸がん等ワクチン接種の全額公費負担を引き続き行います。
- 6 教育環境の創生**
小中一貫教育の推進を図ります。また、教育スタッフの充実をはじめ、各学校や園が策定したスクールマニフェストに基づき、マイスクール事業を引き続き全小中学校で実施します。

一般会計 歳入

市税、地方交付税が増
病院建設のため基金取り崩し



※おことわり
金額は1万円未満を切り捨てしているため、合計金額が一致しない場合があります。

歳入は、景気の回復基調から市税が前年度と比較して1億3,052万円の増額となるほか、地方交付税も前年度より7億円増の105億円を見込んでいます。また病院建設準備基金15億円の取り崩しにより繰入金が大幅な増額となっています。
市債については、市債残高を減らす観点から、交付税措置の有利なものに限り借り入れする方針で予算編成をしています。高島総合病院の整備事業については借り入れ額の7割が補てんされる合併特別債7億3,290万円を計上しています。市債全体としては昨年度に比べ7億8,380万円の減となっています。

グラフを見るポイント!

- 自主財源**
市が自主的に収入することができるお金のこと。
自主財源が多いと市の自由度が高まります。
- 依存財源**
国や県からの補助金など、市が自主的に収入することができないお金のこと。
依存財源が多いと国や県に頼る部分が多いということなので、市の自由度が低くなります。